

破局的な巨大火砕流から9万年を経て、彩り豊かに蘇った大地の軌跡。

ジオサイト紹介

A 巨大火砕流の痕跡

B 豊かな水と自然

C 石への折り

D 大地に育まれた歴史と文化

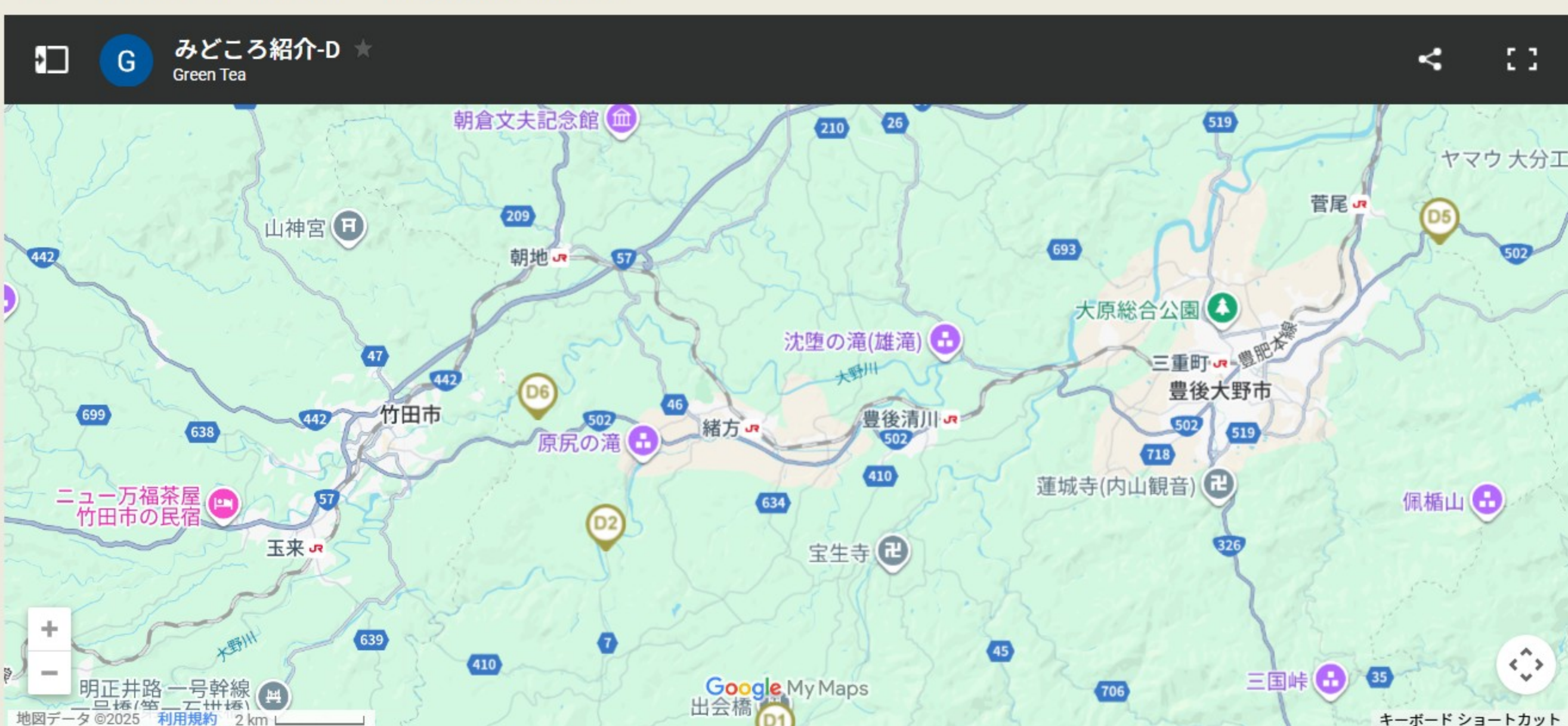
人と自然の共作

豊後大野の人々は、阿蘇火砕流に刻まれた深い谷を渡るために、豊富に存在する溶結凝灰岩を利用して石橋を築くとともに、川を交通路として利用するための水路や港を造りました。また自然の地形を利用してさまざまな文化が芽生えました。

| D-1 出会橋・轟橋 説明 ✕ | D-2 辻河原石風呂 説明 ✕ | D-3 神角寺 説明 ✕ | D-4 犬飼港跡 説明 ✕ | D-5 虹澗橋 説明 ✕ | D-6 蝙蝠の滝 説明 ✕ |



サイドメニューを開くとサイトの選択ができます。



日本一と二位の石橋の競演

出会橋・轟橋 (D-1)

轟橋は昭和9年に森林鉄道の橋として架けられた2連のアーチ式石橋で、広いほうの径間（アーチの幅）が32.1mと日本一を誇ります。一方、出会橋は大正13年に架けられ、径間が29.3mと日本第二位です。下を流れる奥岳川の両岸には、阿蘇火砕流の溶結凝灰岩からなる見事な柱状節理が見られます。

（増水時は河原に降りないで下さい。）

▲マップに戻る



岩壁を利用した 癒しと信仰の融合

辻河原石風呂 (D-2)

石風呂とは岩穴の中に蒸気を充満させて入浴する蒸し風呂の一種です。約12万年前の阿蘇火山の3回目の火砕流の溶結凝灰岩に、崖の形をうまく利用して造られています。崖には阿弥陀如来を表す梵字が彫られており、仏教に関わる施設であったことがうかがえます。

▲マップに戻る



市内一望の 天下の絶景

神角寺 (D-3)

神角寺は千年以上の歴史を持つ古刹です。約1,500万年前の溶結凝灰岩の柱状節理からなる尾根上に立地しているため、大変眺めがよく、そのためしばしば戦いの拠点としても利用されてきました。境内にはたくさんのシャクナゲが植えられており、シーズンには多くの見物客でにぎわいます。

▲マップに戻る



殿様も利用した 豊後大野の玄関口

犬飼港跡 (D-4)

犬飼港は、江戸時代の初めごろに造られた川港です。当時、大野川の上流に領地のあった岡藩は、下流の三重町付近が臼杵藩の領地であったため、この犬飼までは陸路を移動し、ここから船で大分方面に向かっていました。河床には切り立った硬い地層が露出していたため、溶結凝灰岩の切り石を平らに敷き詰めています。

（増水時は川に近づかないようにして下さい。）

▲マップに戻る



商人によって 架けられた美しい橋

虹澗橋 (D-5)

谷を渡る虹のような橋という意味で、江戸時代の後期、文政七年（1824年）に完成しました。当時としては日本最大の石橋で、臼杵藩であった三重の町と臼杵城下を結ぶ街道の難所を克服するため、地元の豪商が資金を出し合って建造しました。堅牢かつ美しい石橋で、国の重要文化財に指定されています。

▲マップに戻る



舟をも迂回させた 絶景の滝

蝙蝠の滝 (D-6)

大野川本流にかかる高さ約10mの滝で、こうもりが翼を広げているように見えることから名づけられたと言われています。明治時代、大野川に舟を通して物資を輸送するために、この滝を迂回する水路と、舟を上げ下げするすべり台のような樋が造られました。

（現在、河床には降りることができません。展望台からご覧下さい。）

PDFで印刷

当協議会について / 外部リンク / サイトマップ / サイトポリシー / お問い合わせ / ダウンロード

おおいた豊後大野ジオパーク推進協議会（豊後大野市商工観光課内）
〒879-7198 大分県豊後大野市三重町市場1200番地
TEL.0974-22-4089

主に豊後大野市外にお住いのみなさん向けに、
関係人口（観光・移住・ふるさと納税情報等）に
特化した豊後大野市公式LINEアカウント
を開設しました。
豊後大野市と気軽な関係をぜひしてみませんか？



PAGE TOP

©2019 Oita Bungoono Geopark